

2023  
5月

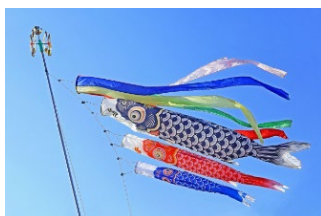
# 月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第 225 号-① 【基準日 2023 年 4 月 28 日】



## 🌸 社長メッセージ



### 先行き不透明だからこそ分散投資が大切

ありがとう投信株式会社  
代表取締役社長 長谷 俊介



皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。早いもので5月になりましたが、いかがお過ごしでしょうか？今年のGWは観光地や行楽地ではコロナ前の混雑と賑わいが戻ってきているようで、外国人観光客も日増しに増えていてオフィス街にも活気が出て来ており、ようやく日本でも経済活動が本格的に再開し始めてきたと感じています。

さて、先月のマーケットですが、上旬は米国経済指標の発表に一喜一憂しましたが、中旬からは米国で決算発表が本格的に始まり、米国の大手金融機関が堅調な決算発表をしたことによって、信用不安拡大の懸念が薄まりやや楽観的な相場展開が続き上昇しましたが、下旬にかけて米国の中堅銀行のファースト・リパブリック・バンクが決算発表で3月末時点の預金が昨年末から4割減少したと発表したことによって同社の株価が急落し、世界株式市場では金融不安が再燃して、大きく調整する局面もありましたが、月末には大きく反発して総じて上昇して1ヶ月を終えました。日本においては、統一地方選挙が行われましたが、大勢に影響はなくマーケットへの影響も限定的でした。また、月末には植田日銀新総裁になって初めて開かれた日銀金融政策決定会合にて金融政策の現状維持が決まったことによって、為替相場はドル・ユーロともに円安方向に大きく振れました。そのような中で、ありがとうファンドは月間で+0.9%の上昇となりました。世界株は3.5%の上昇となり、相対的に出遅れました。参考までに日本株TOPIX配当込みについては+2.7%の上昇となりました。



### 先行き不透明な状況はしばらく続く

今後の見通しですが、3月のSVB破綻に始まり、5月に入りファースト・リパブリック・バンクが破綻してJPモルガンに買収されましたが、一連の米国の金融システム不安の根本的な原因はインフレ抑制のための急速な利上げが影響しているため、今後も利上げを継続したり、金利が高止まりしていけば、信用不安が再燃して他の地銀にも波及していく可能性は十分にあると考えられます。金融システム不安の高まりは預金流出だけでなく、信用収縮による金融機関の貸出抑制につながり、企業の資金繰りの悪化や設備投資の減少などを招き、企業業績の悪化や景気後退を招く可能性も高まってくると思われます。既に米国の不動産市場などで価格が大きく下落するなどその兆候は見えてきております。さらに米国では6月に迫る債務上限問題もあり、しばらく予断を許さない状況が続くそうです。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 304 号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

一方、地政学リスクに関しては、ウクライナを支援する米国やNATO側、G7各国と中国・ロシアを中心とする非米側諸国の対立が深まって世界が分断されてきております。中東やアフリカ、南米などにおける米国覇権も揺らいできており、脱ドル化や多極化が進行している情勢で、今後の世界経済やグローバルなサプライチェーンに大きな影響が出てくる可能性が指摘されていますので、今後の動向を注視していく必要があると考えます。



引き続きインフレ動向やFRBやECBの金利見通し、経済指標と景気後退懸念、企業業績、金融システム不安、信用リスク、そして地政学リスクに一喜一憂するボラティリティの高いマーケットを想定しておりますので、ありがとうファンドでは、国・地域を分散し財務体質が健全なクオリティの高い企業に厳選投資するとともに、相対的に中小型株ファンドを減らして大型株ファンドの割合を増やしていき、リスクを抑制するため金(ゴールド)の保有を継続していく方針です。

引き続きインフレ動向やFRBやECBの金利見通し、経済指標と景気後退懸念、企業業績、金融システム不安、信用リスク、そして地政学リスクに一喜一憂するボラティリティの高いマーケットを想定しておりますので、ありがとうファンドでは、国・地域を分散し財務体質が健全なクオリティの高い企業に厳選投資するとともに、相対的に中小型株ファンドを減らして大型株ファンドの割合を増やしていき、リスクを抑制するため金(ゴールド)の保有を継続していく方針です。

引き続きインフレ動向やFRBやECBの金利見通し、経済指標と景気後退懸念、企業業績、金融システム不安、信用リスク、そして地政学リスクに一喜一憂するボラティリティの高いマーケットを想定しておりますので、ありがとうファンドでは、国・地域を分散し財務体質が健全なクオリティの高い企業に厳選投資するとともに、相対的に中小型株ファンドを減らして大型株ファンドの割合を増やしていき、リスクを抑制するため金(ゴールド)の保有を継続していく方針です。

## こういう時だからこそ分散投資が大切

世界経済は昨年からの物価高騰とインフレ抑制のための欧米各国での利上げ・金融引締めにより、景気減速、企業業績悪化によるリストラ、金融システム不安や信用リスクの発生など、コロナ禍からの経済活動再開による回復途上で恩恵を十分に受ける前に、景気が悪化している状況です。株式市場や債券市場も急激な利上げの影響で大きく下落し、特にコロナ禍の中、大きく値上がりしていたものほど大きく調整しました。これらは、インフレ退治を最優先した金融政策の結果起こっている事象とも言えるので、ある程度想定されていたことではありますが、影響がどの程度まで広がるのか、いつまで続くのかはわかりません。

誰しも不安な気持ちになるものですが、こういう先行き不透明で予測が難しい状況でこそ『分散投資』の教えが大切になってきます。景気後退や金融システム不安時には企業の経営破綻や倒産が起きるので、有名な大企業でも倒産する可能性があるので複数の銘柄に分散投資する必要があります。また、一つの国や地域だけに投資していると、戦争や紛争に巻き込まれて大きく下落したり、取引ができない状況になる可能性もあります。また、マーケットの価格変動(ボラティリティ)が高まっているのでタイミングを予測しての一括売買は、結果的に高値掴みや安値売りになってしまうリスクも増加します。

『分散投資』には、複数の国・地域・資産・銘柄に分散投資する「資産分散」と投資タイミングを複数回に分ける「時間分散(積立投資)」があります。この2つを両方組み合わせることでリスクを抑えながら皆さまの資産運用のゴールを目指していくことができると考えます。

弊社では、今後も長期的な時間軸で物事を捉えて右往左往せずに、短期的な相場動向に一喜一憂することなく、世界経済の成長及び企業の利益成長の恩恵を享受すべく長期・国際分散・厳選投資で基本に忠実に資産運用の王道をブレずに歩んで参りますので、今後ともありがとう投信をご愛顧いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



## 積立投資のすすめ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

### 「定期積立サービス」とは

…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



### ①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていながら、複利効果でリターンチャンスとなります。

### ②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。



### ③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。

期間	平均取得単価	損益
1年	25,180円	+3.5%
3年	24,403円	+6.8%
5年	21,396円	+21.8%
10年	17,664円	+47.5%
初回(2004年10月)から	12,663円	+105.8%



タイミングを見計らうのではなく、  
時間を味方につけていきましょう！

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果を得られます。

<ご参考>毎月1万円積立した場合		
期間	投資額	評価額
1年	12万円	12万4201円
3年	36万円	38万4466円
5年	60万円	73万0829円
10年	120万円	177万0441円
初回(2004年10月)から	223万円	458万9455円

2023年4月28日現在(基準価額:26,061円)

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。  
※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。  
※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



## セミナーのお知らせ

お申し込みは弊社 HP まで♪ (<https://www.39asset.co.jp/seminar/>)

セミナータイトル	開催日	開催地	時間	講師
これからの世界経済の行方 /新投資先ファンド紹介セミナー	6月4日 (日)	東京	13:30～ 15:30	長谷 俊介・真木 喬敏 (ありがとう投信)
これからの世界経済の行方 /新投資先ファンド紹介セミナー	6月18日 (日)	仙台	14:00～ 16:00	長谷 俊介 (ありがとう投信)
これからの世界経済の行方 /新投資先ファンド紹介セミナー	6月25日 (日)	福岡	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
これからの世界経済の行方 /新投資先ファンド紹介セミナー	7月1日 (土)	札幌	13:30～ 15:30	長谷 俊介・真木 喬敏 (ありがとう投信)
これからの世界経済の行方 /新投資先ファンド紹介セミナー	7月9日 (日)	大阪	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
これからの世界経済の行方 /新投資先ファンド紹介セミナー	7月16日 (日)	名古屋	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)

別紙セミナー案内もご覧いただければと思います。

## 住所変更手続きのお願い

お引っ越しをされてご住所が変わった場合は、書面でのお手続きが必要となります。

弊社から変更用紙をお送りいたしますので、ご記入・ご捺印のうえ、新しい住所が確認できる本人確認書類・個人番号確認書類を添付してご返送ください。

尚、お急ぎの場合は、弊社のホームページから変更用紙をダウンロードして印刷することもできます。変更用紙のご請求・ダウンロードは、こちら(<https://www.39asset.co.jp/guide/change/>)をご覧ください。

## 「39紹介プログラム」好評実施中！ ～この機会にご家族ご友人に資産形成を勧めてみませんか？～

既に口座をお持ちのお客さまがご友人やご家族をご紹介していただいた場合に、弊社から感謝の気持ちを込めてプレゼント贈呈させていただきます。お客さまのご友人やご家族で、ありがとう投信に興味をお持ちの方がおられましたら、是非ご紹介をお願いいたします。

詳しくはこちら(<https://www.39asset.co.jp/service/campaign/shokai/>)をご覧ください。

ご家族・ご友人

# 39紹介プログラム

紹介を受けた方がありがとう投信の  
新規口座開設+定期積立1万円以上を  
6ヶ月継続していただくことで  
紹介したお客さまと紹介を受けた方に感謝の気持ちとしてプレゼント贈呈!

3/9 START!

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

## < 2024年から始まる、新NISA 制度 >

「令和5年度税制改正」により2024年1月から新NISAが始まります。

「新NISAは何が新しくなるの?」「現行NISAとの違いは?」など、「新NISA」をよく耳にしても、まだあまり理解できていない人も少なくはないでしょう。

2024年から始まる新NISA制度は、投資枠の拡大、投資期間の無期限化など、恒久的な制度となり、長期的な運用をさらに望める形となりました。

現時点で公開されている情報をもとに、新NISAでおさえておきたいポイント、現行NISAとの違いをお伝えしていきます。



### そもそもNISAとは?

まずは現在のNISAがどのような制度なのか、簡単におさらいしておきましょう。

通常、金融商品に投資をした場合、これらを売却して得た利益や受け取った配当に対して20.315%の税金がかかります。「NISA口座(非課税口座)」内で、毎年一定金額の範囲内で購入したこれらの金融商品から得られる利益が非課税になる、つまり、税金がかからなくなる制度です。税金がかからない分、手元に残せる金額が多くなるのがメリットです。

### 2024年から始まる新NISA制度とは?

項目	現行NISA		新NISA	
	つみたてNISA	一般NISA	つみたて投資枠	成長投資枠
制度実施期間 (口座開設期間)	現行NISA制度は 2023年まで	2023年まで	<b>2024年1月～ 制度恒久化</b>	
制度選択	併用不可		<b>併用可</b>	
投資可能期間	最大20年間	最大5年間	<b>無期限</b>	
年間投資上限額	40万円	120万円	<b>120万円</b>	<b>240万円</b>
最大利用可能額	最大800万円	最大600万円	<b>1,800万円*</b>	
			*簿価残高方式で管理 (枠の再利用が可能)	内数として 1,200万円
対象年齢	18歳以上の成人		18歳以上の成人	
対象商品	投資信託 (金融庁が指定する銘柄)	株式・投資信託・ETF	現行の「つみたてNISA」 対象商品と同じ	株式・投資信託・ETF (一部対象除外あり)
購入方法	積み立てのみ	一括・積み立て	積み立てのみ	一括・積み立て

### 新NISA制度のおさえておきたい「4つのポイント」

#### 1. 制度(口座開設期間)の恒久化、非課税保有期間も無期限になる

現行制度では「つみたてNISA」は2042年まで、「一般NISA」は2023年までと口座を開設できる期間も限られていました。しかし、新NISAでは口座開設期間について期限を設けず、恒久化となります。より長期的な視点で投資に取り組むことができるでしょう。非課税期間についても「つみたてNISA」は20年、「一般NISA」は5年と決められていたため、期限ごとにロールオーバー等の継続手続きが必要でした。今後は期間的な制限がなくなるため面倒な手続きが不要に

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目録見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

なり、いつでも(いつまでも)制度を利用できるようになります。

現行NISA		ずっと使える！	新NISA	
【つみたてNISA】	20年間（現行NISAは2023年まで）		【つみたて投資枠】	無期限（恒久化）
【一般NISA】	5年間（2023年まで）	【成長投資枠】		

## 2. 「つみたて投資枠」・「成長投資枠」の併用が可能になる

今までの NISA 制度の中には「一般 NISA」と「つみたて NISA」と分かれていて、どちらかを選ぶ必要がありました。新 NISA では「つみたて投資枠」と「成長投資枠」が設けられることとなり、同時に使えるようになります。

現行NISA		併用可能に！	新NISA	
【つみたてNISA】	どちらかしか利用できない		【つみたて投資枠】	同時に利用できる
【一般NISA】		【成長投資枠】		

## 3. 1 年間に投資できる金額がアップする

現行制度(2023年12月末まで)では、「つみたて NISA」では年間 40 万円、「一般 NISA」では年間 120 万円だった年間非課税投資枠が、新 NISA では「つみたて投資枠」は年間 120 万円、「成長投資枠」は年間 240 万円と大きく拡充されます。各枠の併用が可能となるため、2024 年以降は最大で年間 360 万円まで投資できるようになります。

現行NISA		大幅UP！	新NISA	
【つみたてNISA】	年間40万円		【つみたて投資枠】	年間120万円
【一般NISA】	年間120万円	【成長投資枠】	年間240万円	

## 4. 生涯の限度枠が新しく設定される

これまでは「1 年あたりの上限額」のみでしたが、新 NISA 制度では、年間投資上限額とは別に、新たに「一生涯の上限額」が設けられ、NISA で投資できるのは 1 人あたり 1,800 万円までと大幅に引上げられます。ただし、この限度額の中で「つみたて投資枠」でも「成長投資枠」でも自由に使えるわけではなく、「成長投資枠」で投資できるのは、1,200 万円までという制限があります。つまり 1,800 万円分全てを「成長投資枠」で使いたいと思ってもできないので、そこは注意が必要です。

現行NISA		生涯の限度枠 が新設定！	新NISA	
【つみたてNISA】	最大800万円 (40万円×20年)		【つみたて投資枠】	2つの投資枠合せて1,800万円 (うち成長投資枠は最大 1,200万円まで保有可能)
【一般NISA】	最大600万円 (120万円×5年)	【成長投資枠】		

2024 年から始まる新 NISA 制度では、制度の恒久化や投資可能金額の増額、つみたて投資枠と成長投資枠の併用が可能になるなど、より多くの資金を長期間にわたって非課税で運用できます。現行の制度から改善される点が多く、より活用しやすい制度になるでしょう。

現行 NISA と新 NISA の違いをご理解いただけたでしょうか？なかなか、すぐには理解するのは難しいとは思いますが、[金融庁のサイト](#)等も参考にいただき、理解を深めていただければと思います。今後は「新 NISA の注意点」や「活用方法」などをお伝えしていきます。



## 今月のFP情報コラム

弊社FPが家計に役立つ様々な情報を毎月発信していきます！  
皆さまの金融リテラシー向上の一助にもなれば幸いです。

### 『今さら聞けない給与明細の見方』

新年度を迎えましたがいかがお過ごしでしょうか。

4月から新社会人として働き始めた方の中には既に初任給が支給された方もいらっしゃるのではないのでしょうか。今回のテーマは『今さら聞けない給与明細の見方』です。

月に1度配られる給与明細。最近はデジタル化が進み、自分でアクセスして閲覧するケースも増えていきます。しかし、給与明細の内訳をきちんとご覧になったことがありますか。内容を確認せずに封印してしまっている方のほうが多いのではないのでしょうか。

お給料がいくら貰えたかも大事ですが、何にいくら天引きされているのかを理解しておくのも社会人として大切なことです。新社会人もそうでない方も一緒に確認していきましょう。

はじめに給与明細は以下の3つに大きく分かれています。

- ①勤怠…出勤日数・有給取得日数・残業時間など給与計算のもとになる勤務状況
- ②支給…基本給や通勤等各種手当など会社から支払われる金額
- ③控除…給与天引きされる社会保険料や税金の額



一般的に総支給額－総控除額＝差引支給額という構成になっています。

※総支給額＝額面。会社から支給される給料の総額  
差引支給額＝手取り。実際に私たちが手にする金額

この給料明細だと額面は278,750円ですが、手取りは208,490円となっており、差額の70,260円（率にすると約25.2%）を自動的に税金や社会保険料として国に納付していることとなります。

税金とは所得税・住民税のことで、社会保険とは年金・健康保険・介護保険・雇用保険のことで、実は私たちは毎月結構な税金・社会保険料を負担しています。

しかし、税金と社会保険料は日本で暮らすためには必ず納めなくてはならないものです。給料天引きをされてしまうと引かれていることさえ気づかない人も多いと思いますが、毎月これだけの額を国に納めているとしっかり認識しておきたいですね。

ローンを組んだり、転職活動をする際など、生活する中で年収を聞かれる場面が多々あります。お金の話が出た時は「額面」なのか「手取り」なのかを必ず確認しましょう。

給与明細では会社が負担してくれているお金を確認することもできます。この給与明細だと、「資格手当」と「住宅手当」が会社独自の福利厚生です。会社によってもらえないところも多いので、勤務先を選ぶ際にはこういった福利厚生面もポイントです。

稀に給与明細の金額が間違っている場合もあるようです。チェック機能も兼ねて給与明細の中身を必ず確認するようにしましょう。

また家計のやりくりを考える場合は、収入は額面ではなく手取り額で計算をして、赤字にならないようにし、できれば手取り額の1割程度は貯蓄（余裕があれば運用）に回せるようやりくりしていきましょう。

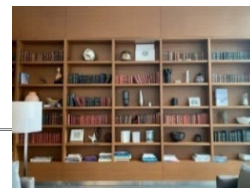
※給与明細イメージサンプル

①勤怠	労働日数	出勤日数	有給休暇日数	欠勤日数	遅刻早退日数	時間外労働	
	20	20	0	0	0	0	
②支給	基本給	役職手当	住宅手当	家族手当	資格手当		
	240,000	0	25,000	0	5,000		
	通勤手当	時間外手当	深夜手当	休日手当			総支給額
	8,750	0	0	0			278,750
③控除	健康保険	厚生年金保険	介護保険	雇用保険	社会保険合計		
	13,800	25,600	0	860	40,260		
	所得税	住民税	税額合計				総控除額
	11,000	19,000	30,000				70,260
④集計	総支給額	総控除額					差引支給額
	278,750	70,260					208,490



## ありがとうの本棚

弊社役職員が最近読んだ本を紹介させていただくコーナーです。  
資産運用や投資、金融や経済全般に関わらず様々な書籍を幅広く取り上げていきます。



### ～今月の一冊～

どうする財源——貨幣論で読み解く税と財政の仕組み  
(祥伝社新書 676) 新書 - 2023/3/31 中野 剛志 (著)

少子高齢化が進む日本では、増え続ける社会保障関係費で国の財政が逼迫しています。税金と社会保険料を合わせた国民負担率は2022年度には47.5%になる見込みであり、**令和の五公五民**と言われる状況になっています。

ロシアによるウクライナ侵攻や米中対立などの地政学リスクの高まりに備えて防衛費を増額したり、異次元の少子化対策を実施したりする上でも財源をどうするかは避けて通れない問題です。政府では、増税や社会保険料を増額する方向で話が進んでいますが、「これ以上手取りが減って負担が増えたら生活が大変だ。」「日本の将来は大丈夫なのか?」と不安に思っている皆さまも少なくないと思います。

本書は、財源について貨幣論や資本主義の本質から考えていき、税と財政の仕組みから現在の日本はどうしていけばよいのか一つの答えを導き出してくれています。なぜ世界経済も諸外国も成長しているのに、30年間、日本は経済成長せず停滞衰退してデフレで苦しみ低迷してきたのか、現在のコストプッシュ型インフレに対して日本はどのような経済政策をとればよいのかなどについてもわかりやすく解説してくれています。

政治家や官僚、経済学者、マスコミ（テレビ、新聞、雑誌）などが一般的に言っていることを常識だと思っている人にとっては読めば目から鱗が落ちること間違いなしです。日本経済の現在、そして将来に関心があるすべての皆さまに是非一読して今後どうするべきか考えてもらいたい一冊です。



## 毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落日座変更】	【定期の引落日金額を変更】 【定期引落日を中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2023年 5月分	4月5日(水)	4月21日(金)	5月8日(月)	5月16日(火)	5月18日(木)
2023年 6月分	5月1日(月)	5月25日(木)	6月6日(火)	6月14日(水)	6月16日(金)
2023年 7月分	6月5日(月)	6月26日(月)	7月6日(木)	7月14日(金)	7月19日(水)
2023年 8月分	7月5日(水)	7月26日(水)	8月7日(月)	8月16日(水)	8月18日(金)

## ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

5月1日(月)	労働者の日/銀行休業日/メーデー	ルクセンブルグ/ロンドン/アイルランド	5月8日(月)	チャールズ国王戴冠式	ロンドン
5月9日(火)	ヨーロッパの日	ルクセンブルグ	5月18日(木)	キリスト昇天祭	ルクセンブルグ
5月29日(月)	戦没者記念日/聖霊降臨祭/銀行休業日	ニューヨーク/ルクセンブルグ/ロンドン	6月5日(月)	銀行休業日	アイルランド
6月19日(月)	奴隷解放記念日	ニューヨーク	6月23日(金)	建国記念日	ルクセンブルグ

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



## ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99% (税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.45% ± 0.3% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出してあります。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】 騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

### ■R&I ファンド大賞について

R&I「ファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務)であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

### <免責事項 | Disclaimer>

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リップパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

# これからの世界経済の行方/ 新投資先ファンド紹介セミナー

6月よりセミナーを全国で開催いたします！

これからの世界経済およびマーケットの行方がどうなるのかをテーマに6月より全国でセミナーを開催いたします。また、セミナーでは5月末に新しく投資対象として追加予定の新投資先ファンドのご紹介もさせていただきますので、是非この機会にご参加頂ければ幸いです。皆様のご参加をお待ちしております！

東京

2023年6月4日(日) 13:30~15:30  
ありがとう投信本社3F

仙台

2023年6月18日(日) 14:00~16:00  
仙都会館7F-B

福岡

2023年6月25日(日) 13:30~15:30  
アクロス福岡604

札幌

2023年7月1日(土) 13:30~15:30  
かでの2.7(北海道立道民活動振興センター)540会議室

大阪

2023年7月9日(日) 13:30~15:30  
大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)  
セミナー室2

名古屋

2023年7月16日(日) 13:30~15:30  
ウイंकあいち(愛知県産業労働センター) 会議室1210



代表取締役社長  
長谷俊介



ファンドマネージャー  
真木喬敏

お申込みは、お電話・ホームページからどうぞ  
URL:<https://www.39asset.co.jp/seminar/info/>  
フリーコール:0800-888-3900

**39** ありがとう投信  
Arigato Asset Management inc.

